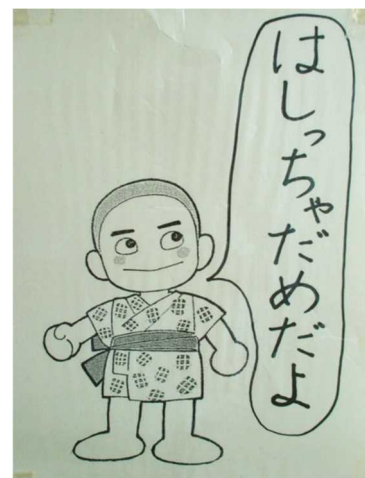
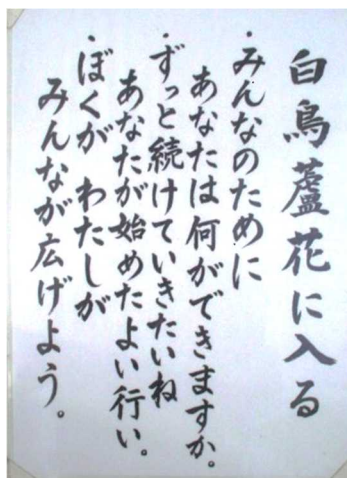


神崎市立千代田東部小学校

令和4年度 教育の日特集

<学校の自慢>

校訓：「白鳥蘆花に入る」「渾身勉強」



下村湖人先生の心・教えを受け継ぎ、地域の方々に温かく見守られながら頑張っています。

<教育目標>

『夢に向かって、気づき・考え・行動する』児童（スーパーちとせっ子）の育成

～ 自分大すぎ、友だち大すぎ、学校大すぎ ～

○目指す児童像

元気いっぱい、輝く笑顔で登校する児童

- ・(自分大すぎ) 得意分野(自慢)をもち、仲間と未来を語る心優しい子
- ・(友だち大すぎ) 意欲的で、自信をもって自己表現できる子
- ・(学校大すぎ) 試行錯誤し、根気強く挑戦できる(取り組む)子

○今年度の実践

(1) 校内研究(道徳科)の授業実践

研究主題:「自己を見つめ、他者と共によりよく生きようとする児童の育成」

～主体的に話し合い、互いに深め合う道徳教育を通して～

本年度は、昨年度に引き続き、授業の中で自分の考えを単に伝えるのではなく、感じたことや気づきを相手に返すことや、友達の考えを比較したり参考にしたりしながら考えを深めることができるように、授業実践を行っています。10月までに、2回の全体授業研究協議会を実施しました。



5年研究授業(対話活動)



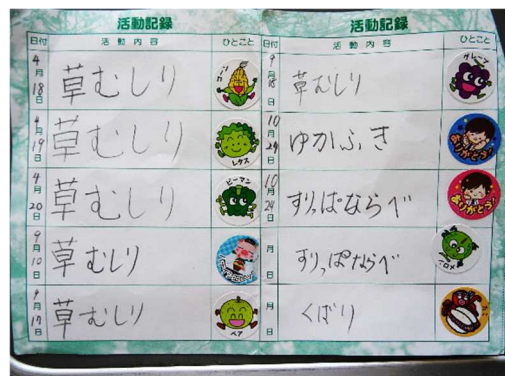
3年研究授業(対話活動)

(2) ボランティア活動の推進

神崎市が推進しているボランティア活動とタイアップし、学校内外での小さな良い行いを記録に残し、みんなで認めていこうという取り組みを推進しています(神崎市クリーン作戦にも積極的に参加をしています)。



神崎市ボランティアパスポート



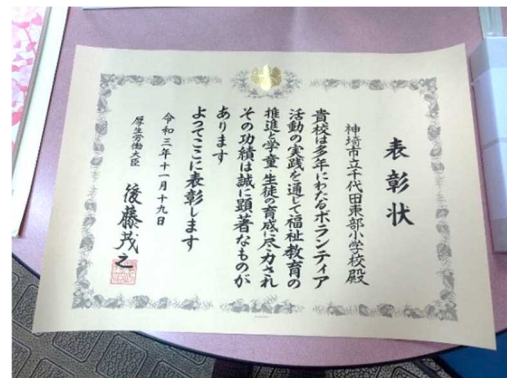
良い行動を確実に記録



運動場の草取り



花苗植え



ボランティア功労者厚生労働大臣表彰

(ボランティア活動に、積極的に取り組んだ功績により賞をいただきました。)

(3) 自己有用感(自分の良いところを見つけて、自信をもって伸びよう)の醸成

自分のよさを見つけ、友だちのよさを認め、目標に向かって伸びていこうという取り組みを実践しています。

<スターカードの取り組み>

当たり前なことを当たり前でできる児童をしっかり認める、称賛することで、一人一人が自信をもち、自己有用感を高めることを願っての取り組みです。「当たり前なことを当たり前に行う」という渦を作り、良い環境の中で伸び伸びと成長できる学校作りをしています。その中で安心して自分を出せることで、いっそう自己表現力(自信)や自尊心を育てていこうと考えています。全職員が、スターシールを携帯し、いつでもどこでもシールを渡せるようにしています。



スターカードとスターシール

(4) 生活習慣の意識の共有 (千代田町内小中学校共通指導事項「すみそよいあじ」)
＜チャレンジ7＞

- ㊟スリッパならべ ㊟みだしなみ ㊟無言そうじ
㊟四か条のちかい ㊟いじめ防止 ㊟あいさつ ㊟時間を守る

この「チャレンジ7」を合言葉に、教師も児童も意識を共有し、生活規範の定着につながるよう取り組んでいます。

【自己有用感】全国学力学習状況調査より

- 「自分には良いところがある。」 77.8% (全国 39.4% 国 34.2%)
○「自分の将来の夢や目標を持っている。」 88.9% (全国 60.4% 県 61.1%)
○「難しいことでも恐れなくて挑戦する。」 72.2% (全国 27.6% 県 27.6%)

自分(考え)に自信をもって、自分の力を発揮(表現)できる

【令和4年度前期学校評価アンケートより】

児童：学校は楽しいですか	99%
保護者：お子さんは、毎日元気よく登校していますか	99%
児童：友達と力を合わせて生活や勉強ができていますか	99%
保護者：学校での学習習慣は定着していると思いますか	95%
児童：毎日、学年にあった時間、家での勉強ができていますか	91%
保護者：お子さんは毎日学年で決められた時間、家庭学習をしていますか	73%